



学校だより

バンクーバー補習授業校

2025年度

第4号

2025・4・23

有事に備え、避難訓練実施。

～ 第1回避難訓練（地震・火災想定）～

4月19日（土）午後、本校では「地震発生後にボイラー室から火災が発生した」という想定のもと、避難訓練を実施しました。児童生徒たちは、教職員の指示に従い、落ち着いて迅速に避難行動をとることができました。

今回の訓練では、緊急地震速報が鳴った際の初期対応（机の下への避難や頭部の保護）から、校舎外への避難、点呼確認までの一連の流れを確認しました。また、火災の発生場所に応じた避難経路を見直し、最も安全な出口はどこかを確認しました。



自然災害はいつどこで起こるかわかりません。忘れた頃に突然やってくる——そのことを心に留め、日頃からの備えと防災意識を高めておくことが、何より命を守ることに繋がります。本校では、年2回の訓練を行い、児童・生徒が安心して学べる環境づくりに努めてまいります。なお、第2回避難訓練は9月に「不審者侵入」を想定して実施する予定です。

最後に、余談ではありますが、少し私（校長）自身の体験を紹介させていただきます。

私は2011年3月11日、福島県いわき市内の中学校で東日本大震災を経験しました。マグニチュード9.0の巨大地震による激しい揺れが何度も襲い、市内各地で火災や津波が発生しました。さらには福島第一原子力発電所の事故も重なり、混乱を極める状況の中、教頭として体育館の避難所対応にあたったことを、今も鮮明に覚えています。当時、多くの人々が「当たり前の普通の暮らしに戻りたい」とロクに語っていた姿が忘れられません。

そうした経験を踏まえ、子どもたちには「もしも」に備え、確かな行動力を育ててほしいと願っています。

【感謝を込めて】学生ボランティアさん、ありがとうございました。

～ 補習校ボランティア紹介（その2）～

本校では、今年2月ごろから、図書室での貸出・返却業務、児童・生徒への個別支援、卒業式や入学式のお手伝いなど、学校運営のさまざまな場面で学生ボランティアの皆さんの力をお借りしてきました。

この度、日本からのUBC交換留学生2名の学生ボランティアが、4月26日（土）を最後に帰国することとなりました。「子どもたちの力になりたい」「学校の役に立ちたい」という思いを胸に、一生懸命取り組んでくださったお二人の姿に、私たち教職員一同、そして子どもたちも多くのことを学ばせていただきました。



事務局長とともに・・・

バンクーバーで過ごした思い出の1ページに、補習校での経験が温かな記憶として残ることを願っています。そして、ふとしたときに補習校のことを思い出していただけたら嬉しく思います。

帰国後のご活躍とご健康を心よりお祈りします。本当にありがとうございました。